



佳作（株式会社エイトワン賞）

秋 石鎚遠景

大石 涼

紙 水彩絵具

講評

鮮やかな色彩と安定した構図で、石鎚の秋模様が丁寧に描かれています。手前に大きな木のシルエットを大胆に入れ、その向こうにそびえ立つ山の様子は、浮世絵の景色のようで、強く印象に残ります。

紅葉した木々の葉や枝に注目すると、同じ形や細かい線を用いて、規則性のある模様のように描かれており、それを配置する場所や色の選択によって、装飾的で美しい自然を表現しています。また、中央の山肌の黒と、その手前の黄色との対比が効果的で、緩やかな曲線を使って色を塗り分けることで、山の奥へ奥へと視線が誘導されるように工夫されています。凛とした秋の空気を感じることもできる作品に仕上げられています。（高木 学）